



かたせ

自治連だより

2023年10月25日 第15号
発行 片瀬地区自治町内会
連絡協議会
発行人 畠山 義昭
事務局 片瀬市民センター内
電話 0466 - 27 - 2711

片瀬地区自治会・町内会一覧

新屋敷ブロック

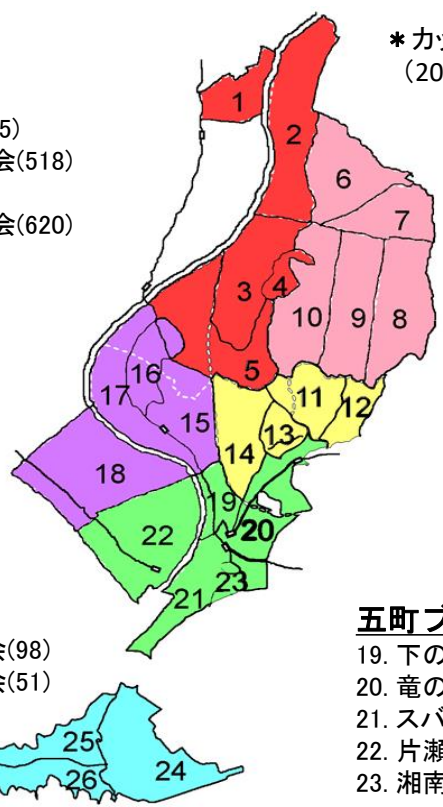
1. 片瀬弥生会(440)
2. 新屋敷親睦会(375)
3. 新屋敷第一町内会(518)
4. 三部会(101)
5. 新屋敷第二町内会(620)

西ブロック

15. 西方町内会(439)
16. 西の原会(222)
17. 御行町内会(460)
18. 西浜町内会(940)

江の島ブロック

24. 江の島東町町内会(98)
25. 江の島西町町内会(51)
26. 江の島弁天会(35)



*カッコ内は加入世帯数
(2023年4月1日時点)

片瀬山ブロック

6. 片瀬山1丁目自治会(266)
7. 片瀬山2丁目自治会(256)
8. 片瀬山3丁目自治会(471)
9. 片瀬山4丁目自治会(289)
10. 片瀬山5丁目自治会(293)

東ブロック

11. 東り町東会(237)
12. 片瀬目白山町内会(86)
13. 片瀬中央平和会(75)
14. 片瀬三和会(235)

五町ブロック

19. 下の谷本町町内会(180)
20. 竜の口町内会(314)
21. スバナ通り町内会(628)
22. 片瀬海岸2丁目町内会(594)
23. 湘南グリーンハイツ自治会(105)

《 令和5年度 総会報告 》

令和5年5月22日(月)に開催され、令和4年度の事業報告及び収支決算報告、令和5年度事業計画及び収支予算などが審議され、すべて承認されました。

令和4年度は、役員会を7回開催し延べ34人、定例会を3回開催し延べ57人、編集会議を3回開催し延べ21人が参加しました。

片瀬地区26自治町内会の会長で組織する団体として、情報共有、意見交換、相互の交流など、事業の実施を通じて自治町内会及び各地域団体との連携を深めていくことを確認しました。

◆今年度の自治連役員 <ブロック代表者>

会 長	畠山 義昭	【江の島】	副会長	中島 尚之	【東】
副会長	馬場 英人	【西】	会 計	北村 守良	【新屋敷】
監 事	長坂 美喜雄	【五 町】	監 事	平田 正治	【片瀬山】

会長あいさつ

片瀬地区自治町内会連絡協議会

会長 畠山 義昭



今年度、自治連及び各協議会は、コロナ以前と同じように事業を進めています。総会から始まり、これまでに戦没者慰霊祭、防災意識を高めるための研修(ヨットハーバー避難塔見学)を自主防災協議会と合同で実施しました。

各自自治町内会では、加入者の減少、役員のなり手不足という問題が近年ますます顕著になっていきます。本年度はこれを重点目標に置き、二度の定例会ではその対策について意見交換を行ってきました。

我々自治会は、各協議会への出向委員の母体となる組織団体であり、委員を推薦する役目があります。また近隣自治会及び各ブロック間の情報共有を図る立場にあります。

本年も、より有意義な自治連のあり方の模索を続けながら、各自自治町内会が事業を円滑に行い、自治会同士の共有を図れるように努めていきます。また各協議会と協働で、住みよいまちづくりを目指します。

市民センター長あいさつ

片瀬市民センター長

幸田 一線



令和五年四月一日付けで片瀬市民センター長に就任しました。

片瀬江の島地区は、緑や潮の香り漂う自然豊かで、江の島神社や龍口寺などの歴史と文化が大変深く、魅力あふれるまちとして、暮らしやすさにおいて人気が高い地域です。

昨年度までは、新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大により、地域活動を含め様々な活動が制限され、地域コミュニティが停滞しましたが、今年度は、5類へ移行

したことで、人の交流が活発になりますので、これから地域の強みを生かし、片瀬地区が持つ魅力をさらに高めるため、地域の皆様と協働してまいります。

また、コロナにより減少した地域コミュニティについても、地域と行政、関係団体などが連携し、より良い「地域づくり」を進め、地域がより暮らしやすくなるよう、職員一同努めてまいりたいと考えておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

片瀬地区 自治会・町内会長一覧

私たちと共に良い片瀬地区を作っていきましょう

									
1. 片瀬弥生会 平沼 幸彦	2. 新屋敷親睦会 泉 譲	3. 新屋敷第一町内会 来栖 正夫	4. 三部会 神保 博一	5. 新屋敷第二町内会 北村 守良	6. 片瀬山1丁目自治会 松本 総一郎	7. 片瀬山2丁目自治会 井内 恭夫	8. 片瀬山3丁目自治会 磯野 祐子	9. 片瀬山4丁目自治会 杉山 俊士	10. 片瀬山5丁目自治会 平田 正治
									
11. 東り町東会 飛田 孝一郎	12. 片瀬目白山町内会 小山田 幸雄	13. 片瀬中央平和会 五島 由勝	14. 片瀬三和会 中島 尚之	15. 西方町内会 渡辺 弘	16. 西の原会 折原 美知子				
17. 御行町内会 長谷川 紀夫	18. 西浜町内会 馬場 英人	19. 下の谷本町町内会 長坂 美喜雄	20. 竜の口町内会 鈴木 義孝	21. スバナ通り町内会 依藤 光雄	22. 片瀬海岸2丁目町内会 備前 邦男	23. 湘南グリーンハイツ自治会 渡辺 武	24. 江の島東町町内会 畠山 義昭	25. 江の島西町町内会 岩本 文彦	26. 江の島弁天会 渡辺 英雄

かたせNOW 【 片瀬中学校との合同防災学習会 】

片瀬三和会 会長 中島 尚之（片瀬地区自主防災協議会 会長）

片瀬地区では、毎年、自治町内会と片瀬中学校と合同で防災に関する学習会を開催し、自治町内会の自主防災活動に関する取組みなどを紹介しています。

自治町内会と中学校が協力して実施する学習会は、市内の中学校（19校）のうち、唯一片瀬中学校のみで実施されています。（432人）

今年度の合同防災学習会は、関東大震災が発災して100年の節目となる、9月1日（金）に開催されました。

学習会当日は、全校生徒が自治町内会ごとに別れ、役員と顔合わせを行いました。役員から、生徒に各自治町内会の防災に対する取組を説明した後、集団下校し、自治町内会の一時避難場所や、公園などにある防災倉庫に保管されている防災資機材の紹介、操作体験などを行いました。

片瀬三和会では、自治町内会役員の紹介、自治町内会の自主防災計画、大災害が発災した時に自治町内会として生徒に期待していることなどを説明し、生徒、引率の先生、自治町内会役員が一斉に集団下校を行いました。

集団下校の途中では、上諏訪神社内にある大正12年に発生した

関東大震災及び、翌年、余震として発生した丹沢地震について記載されている震災記念碑について説明しました。（右下写真）次に、一時避難場所の案内や防災井戸の場所の確認・操作及びバケツリレーの体験を行いました。その後、片瀬中央平和会も合流し、片瀬3丁目ましかど公園内に設置されている片瀬三和会の防災倉庫の中にあるリヤカーや担架などの防災資機材の紹介と組み立てを行い、実際に生徒もリヤカーの操作体験を行いました。生徒達は説明を興味深く聞いていました。

中学生の皆さんには、災害が発生した時、避難所生活が軌道に乗るまで、貴重な戦力として活躍することを期待しています。具体的には、高齢者・生徒・児童等への声掛け、避難誘導、避難所運営に必要な物資の運搬・配布、災害に関する情報の共有・伝達や、避難所運営員会と連携した活動などです。

この合同防災学習会を経験し、将来、国内・国外に出て、現地で災害に遭遇した際、自発的に活動できる立派な大人になることを、心から願っています。



自治町内会ごとに防災の取組を説明



公園内に設置されている防災倉庫内のリヤカーの組立てと操作体験



上諏訪神社に建立されている関東大震災の震災記念碑

自治会・町内会紹介 (15)

「みんなで作る町内会」

片瀬弥生会 会長 平沼 幸彦

こんにちは、「片瀬弥生会」です。本年度、一年目の町内会長です。当町内会は、片瀬地区の北端にあり、藤沢市役所まで徒歩15分、片瀬市民センターまでは徒歩30分です。町内にドラッグストアや食品スーパー、病院などがあり便利です。しかし、海抜4m前後と土地が低いため、境川が氾濫した時の水害の危険があります。

町内会の参加世帯数は、現在約430世帯です。内訳は、戸建て110世帯、分譲マンション320世帯で、集合住宅世帯が多い構成です。

本年5月、大源太公園で防災訓練を一部のマシオン管理組合と共同で実施しました。雨天で規模を縮小して行いましたが、約90人が参加しました。6月には、4つのマシオン管理組合理事会と打合せを行い、本年度の町内会活動と来年度の防災訓練の協力をお願いしました。「避難行動要支援者名簿」も、各マシオンごとに名簿の預りをお願いし、現在、各理事会で検討してもらっています。了承した理事会へは、名簿をお願いしました。マシオンは、構造上、災害に強いので、今後は、戸建てとの災害協力などを検討できたらと思います。町内会は、戸建て中心のイメージがありますが、今後は、集合住宅世帯への対応も工夫し、みんなが参加できる町内会ができたらしと思っています。



【防災訓練 消火訓練の様子】

戦没者慰霊祭を終えて

片瀬・江ノ島地区戦没者顕彰会

田中 徳治

「戦没者顕彰会」として、旧来の「戦没者遺族会」が新たに生まれ変わり、地域による戦争の歴史を語り継ぐ行事としては、2回目となる戦没者追悼式が2023年5月27日、片瀬諏訪神社祖霊舎にて、片瀬地区自治町内会連絡協議会の協力のもと斎行されました。

祖霊舎には日清・日露・支那事変・大東亜戦争に殉じた177柱の御霊が祀られ、誰もが戦争の記憶を後世に伝えていく大切な場所となっております。

戦後七十八年が経過し、戦争体験者が減少しつつある昨今、戦争を知らない私たちがどのようにして戦争の記憶や教訓を次の世代に伝えていくのが課題となっています。私自身、戦没者追悼式に携わることで、教科書で戦争を学ぶのではなく、戦陣に倒れた方の気持ちに思いを寄せ、遺された遺族のご苦労を聞き、改めて戦争の悲惨さを痛感し、戦争というものに触れた気がしました。

第3回戦没者慰霊祭は戦後八十年の節目となる2025年5月に斎行予定となります。

現在の華やかな観光地としての片瀬・江ノ島に戦争の惨禍があり、先人らが今の私たちに何を遺したかったのか、戦没者らが描いていた将来の姿を今の私たちは実現出来ているのか。と一人でも多くの方々に対して戦争を考える機会になれば幸いです。



【戦没者慰霊祭の様子】

【自治連だより編集委員】

畠山 義昭	（江の島）	中島 尚之	（東）
馬場 英人	（西）	北村 守良	（新屋敷）
長坂 美喜雄	（五町）	平田 正治	（片瀬山）
若林 直美	（東）	桐生 留美子	（片瀬山）
渡辺 武	（五町）		